

## ピムコ ハイ・インカム毎月分配型ファンド

追加型投信／海外／債券

第185期末 (2019年 1月15日)	
基準価額	6,896円
純資産総額	70,359百万円
第180期～第185期	
騰落率 (上昇率・下落率)	-4.1%
分配金合計(*)	120円

(注) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率で表示しています。  
 (\*) 各期の分配金を合計したものです。

第180期 (決算日: 2018年 8月15日)  
 第181期 (決算日: 2018年 9月18日)  
 第182期 (決算日: 2018年10月15日)  
 第183期 (決算日: 2018年11月15日)  
 第184期 (決算日: 2018年12月17日)  
 第185期 (決算日: 2019年 1月15日)

作成対象期間  
 (2018年 7月18日～2019年 1月15日)

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

当ファンドは、ピムコ ケイマン グローバル ハイ インカム ファンド JPYおよびピムコ ケイマン グローバル アグリゲイト エクス・ジャパン インカム ファンド JPYへの投資を通じて、日本を除く世界の高利回り債券と投資適格債券を概ね50%程度ずつ組み入れた運用を行います。ここに運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドが受益者のみなさまの資産形成に資するよう、運用に努めてまいりますので、よろしく願い申し上げます。

- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、下記の手順で閲覧できます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社まで、お問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧およびダウンロード方法>

- ①右記ホームページにアクセス
- ②「基準価額一覧」もしくは「ファンド検索」から当ファンドを検索し、選択
- ③ファンドの詳細ページで運用報告書(全体版)を選択



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号  
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

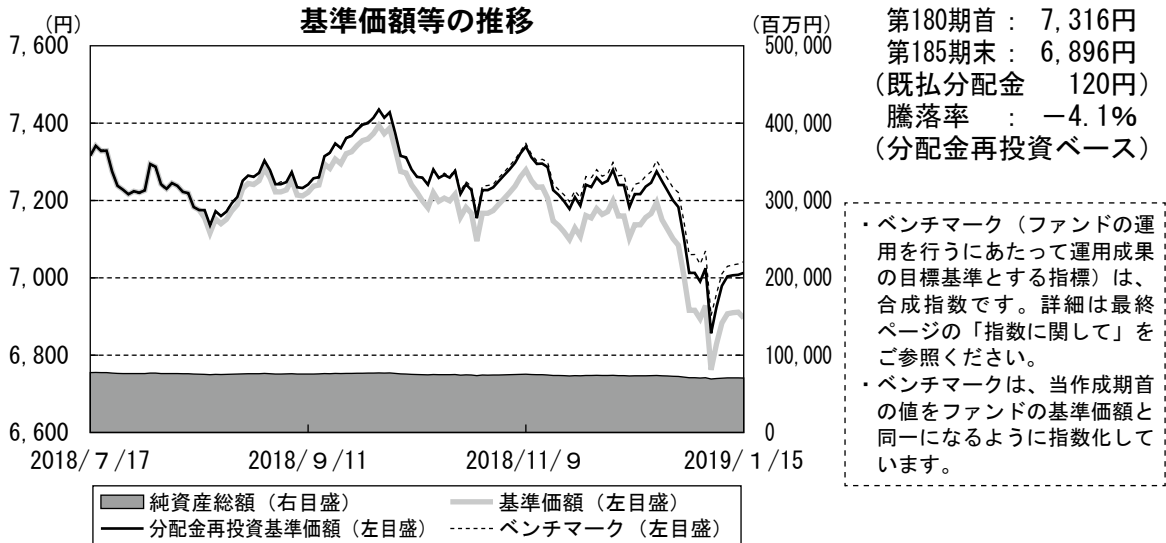
0120-151034  
 (受付時間: 営業日の9:00~17:00、  
 土・日・祝日・12月31日~1月3日を除く)

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

## 運用経過

当作成期中の基準価額等の推移について (第180期～第185期：2018/7/18～2019/1/15)

基準価額の動き	基準価額は当作成期首に比べ4.1% (分配金再投資ベース) の下落となりました。
ベンチマークとの差異	ファンドの騰落率は、ベンチマークの騰落率 (-3.7%) を0.4% 下回りました。



・分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

**!** 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

### 基準価額の主な変動要因

上昇要因	・投資適格債券市況が上昇したこと等が基準価額の上昇要因となりました。
下落要因	・米ドルやユーロが対円で下落したこと等が基準価額の下落要因となりました。

## 1万口当たりの費用明細

(2018年7月18日～2019年1月15日)

**i** 記載された金額は、期間中にファンドを介して受益者のみなさまが間接的にご負担いただいた費用です。

項目	第180期～第185期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	50円	0.699%	(a) 信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率×(作成期中の日数÷年間日数)
(投信会社)	(29)	(0.403)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販売会社)	(19)	(0.269)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(2)	(0.027)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	0	0.002	(b) その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
(監査費用)	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
(その他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	50	0.701	
作成期中の平均基準価額は、7,186円です。			

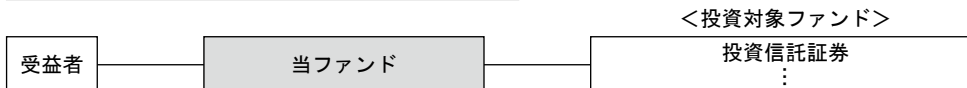
(注) 作成期間の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

### 【費用開示の仕組み】

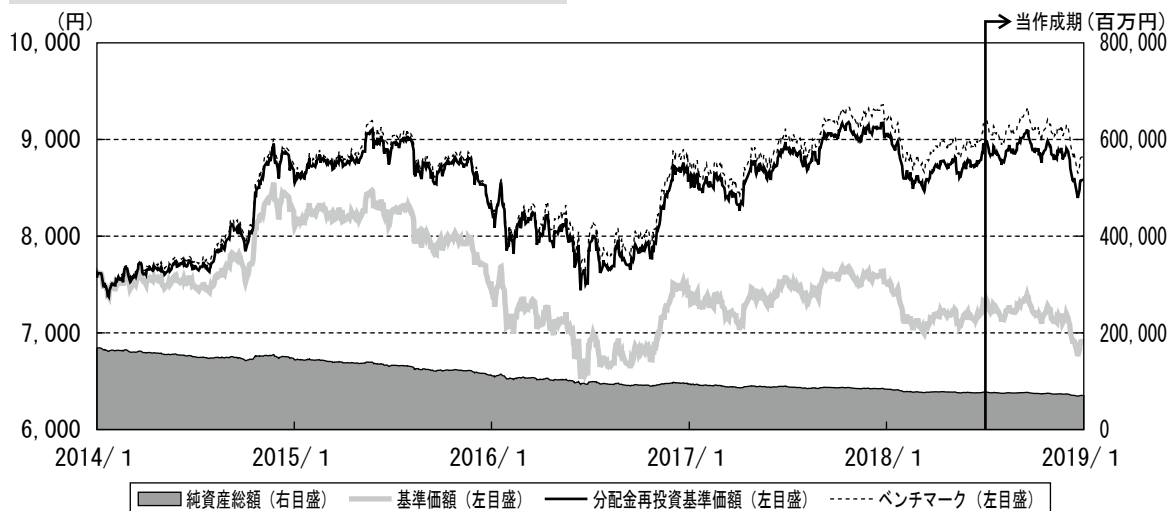
下記  部分の費用が費用明細に含まれています。



**!** 当ファンドの費用に関する情報を後記「<ご参考>当ファンドに関わる費用について」に記載していますので、ご確認ください。

## 最近5年間の基準価額等の推移について

(2014年1月15日～2019年1月15日)



- ・分配金再投資基準価額、ベンチマークは、2014年1月15日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。
- ・海外の指数は基準価額の反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

## 最近5年間の年間騰落率

	2014/1/15 期初	2015/1/15 決算日	2016/1/15 決算日	2017/1/16 決算日	2018/1/15 決算日	2019/1/15 決算日
基準価額 (円)	7,571	8,122	7,454	7,404	7,521	6,896
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	420	420	330	240	240
分配金再投資基準価額騰落率	—	13.3%	-3.3%	4.1%	4.9%	-5.2%
ベンチマーク騰落率	—	14.0%	-3.6%	5.2%	5.5%	-4.5%
純資産総額 (百万円)	168,077	144,578	111,874	94,355	83,660	70,359

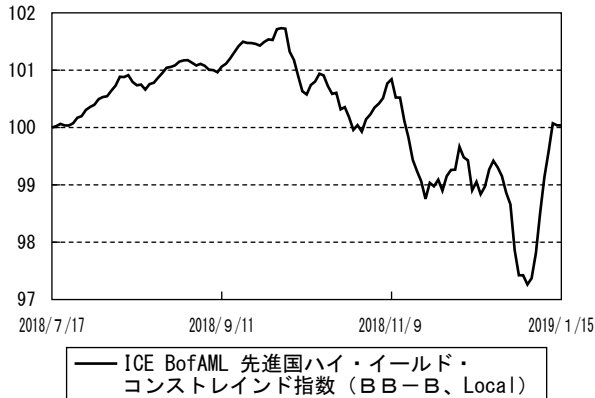
- ・ファンド年間騰落率は、ベンチマーク年間騰落率と比較するため、収益分配金 (税込み) を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

ベンチマークは、合成指数です。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

## 投資環境について

(第180期～第185期：2018/7/18～2019/1/15)

### 債券市況の推移 (当作成期首を100として指数化)

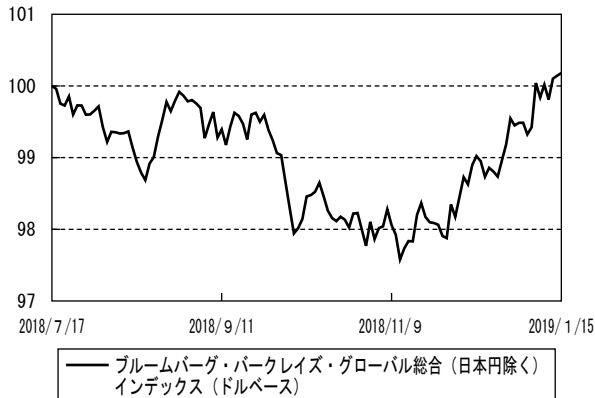


- ・ ICE BofAML 先進国ハイ・イールド・コンストレインド指数 (BB-B) とは、ICE Data Indices, LLCが算出する主な先進国のハイイールド債券の値動きを表す指数です。同指数は、ICE Data Indices, LLC、ICE Dataまたはその第三者の財産であり、三菱UFJ国際投信は許諾に基づき使用しています。ICE Dataおよびその第三者は、使用に関して一切の責任を負いません。

### ◎高利回り債券市況

- ・ 米中貿易摩擦を巡る懸念の高まり等を受け、主要国の株式市況や原油相場が軟調に推移しました。こうした環境下、米国やドイツの長期金利が概ね低下したこと等がプラスとなった一方、スプレッドが拡大したこと等がマイナスとなり、高利回り債券市況は概ね横ばい推移となりました。

### 債券市況の推移 (当作成期首を100として指数化)

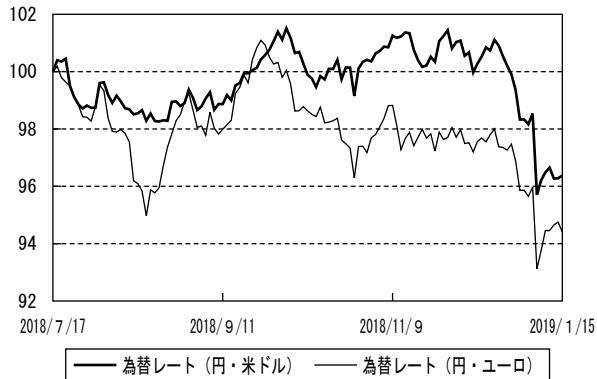


- ・ ブルームバーグ・バークレイズ・グローバル総合 (日本円除く) インデックス (ドルベース) とは、ブルームバーグが算出する世界の投資適格債券 (円建てのものを除く) の値動きを表す指数です。

### ◎投資適格債券市況

- ・ 米国やドイツの長期金利が概ね低下したこと等がプラスとなり、投資適格債券市況は上昇しました。

**為替市況の推移**  
(当作成期首を100として指数化)



◎為替市況

- ・米中貿易摩擦を巡る懸念の高まり等を背景に主要国の株式市況や原油相場が軟調に推移する中、投資家のリスク回避姿勢が強まりました。こうした環境下、大半の主要通貨に対して円が上昇し、米ドルやユーロも対円で下落しました。

## 当該投資信託のポートフォリオについて

**i** 期間中にどのような運用をしたかを確認できます。

### <ピムコ ハイ・インカム毎月分配型ファンド>

- ・ 2本の円建外国投資信託への投資を通じて、日本を除く世界の高利回り債券と投資適格債券を概ね50%程度ずつ組み入れた運用を行いました。
- ・ 当作成期は、投資適格債券市況が上昇したこと等がプラスとなったものの、米ドルやユーロが対円で下落したこと等がマイナスとなり、基準価額（分配金再投資ベース）は下落しました。
- ・ なお、2018年12月末時点で、2本の円建外国投資信託を通じて投資した信用リスク管理上、政府機関の発行または保証する有価証券と同等と判断した銘柄の実質的な組入比率は、ファニーメイは12.0%、フレディ・マックは-0.6%としました。（ネットベース）

### <ピムコ ケイマン グローバル ハイ インカム ファンド JPY>

- ・ 米国における金融緩和縮小による市場の価格変動性や米中貿易摩擦を巡る政治的不透明感の高まり等が懸念されたことから、保守的な業種・銘柄選択を継続しました。
- ・ 具体的には、社会の高齢化に伴い成長性が期待されるヘルスケアや米住宅市況回復の恩恵を受けやすいと考えられる建築資材等に対する積極姿勢を維持しました。一方、参入障壁が低く景気循環の影響を受けやすいと考える小売、競争が激しい通信等を消極姿勢としました。

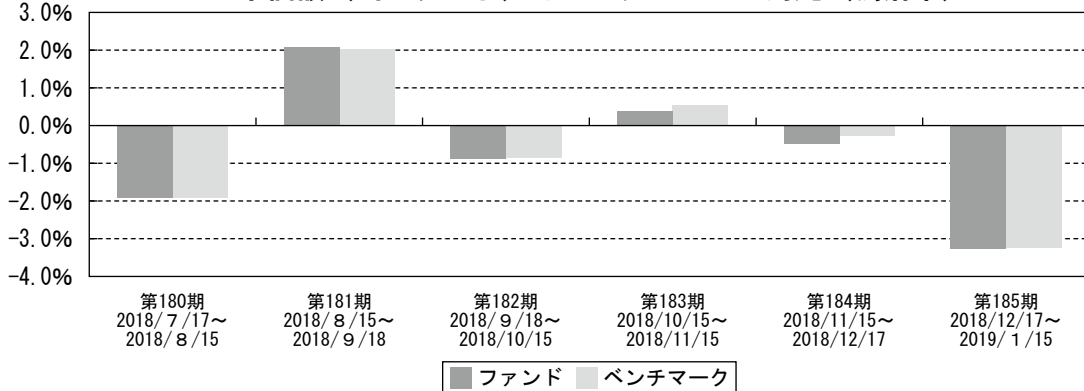
### <ピムコ ケイマン グローバル アグリゲイト エクス・ジャパン インカム ファンド JPY>

- ・ 世界経済は、米国を中心に緩やかに拡大するも、その拡大ペースは鈍化する可能性が高いと見ていました。また、米国における金融緩和縮小による市場の価格変動性や米中貿易摩擦を巡る政治的不透明感が高まる可能性にも注意が必要と考えました。このような環境下、世界的な景況感や各国の金融政策のスタンスの相違等に着目した投資を行いました。
- ・ 具体的には、米国の経済政策に対する見方等から、米国のデュレーション（平均回収期間や金利感応度）を中期ゾーン中心に長めとしました。一方、英国の欧州連合（EU）離脱のプロセスは秩序ある形で進むという見通しを踏まえ、英国のデュレーションを短めとしました。

当該投資信託のベンチマークとの差異について (第180期～第185期：2018/7/18～2019/1/15)

**i** ベンチマークまたは参考指数と比較することで、期間中の運用内容を評価することができます。

基準価額（当ファンド）とベンチマークの対比（騰落率）



・ファンドの騰落率は分配金込みで計算しています。

<ピムコ ハイ・インカム毎月分配型ファンド>

- ・基準価額は当作成期首に比べ4.1%（分配金再投資ベース）の下落となりました。
- ・ファンドの騰落率は、ベンチマークの騰落率（-3.7%）を0.4%下回りました。高利回り債券に投資している円建外国投資信託がベンチマークを上回ったこと等はプラスとなった一方で、信託報酬等がマイナスとなりました。

<ピムコ ケイマン グローバル ハイ インカム ファンド JPY>

- ・基準価額は当作成期首に比べ3.5%（分配金再投資ベース）の下落となりました。
- ・ファンドの騰落率は、ベンチマーク（ICE BofAML 先進国ハイ・イールド・コンストレインド指数（BB-B、円ベース））の騰落率（-4.1%）を0.6%上回りました。

（プラス要因）

- ・社会の高齢化に伴い成長性が期待されること等から積極姿勢としたヘルスケアのパフォーマンスが他のセクターを上回ったこと。



## <ピムコ ケイマン グローバル アグリゲイト エクス・ジャパン インカム ファン ド JPY>

- ・基準価額は当作成期首に比べ3.4%（分配金再投資ベース）の下落となりました。
- ・ファンドの騰落率は、ベンチマーク（ブルームバーグ・バークレイズ・グローバル総合（日本円除く）インデックス（円ベース））の騰落率（-3.4%）並みとなりました。

（プラス要因）

- ・米国金利の中期ゾーンに対して積極姿勢としたこと。

（マイナス要因）

- ・米インフレ連動債を保有していたこと。

## 分配金について

**i** 分配金の内訳および翌期繰越分配対象額（翌期に繰越す分配原資）がどの程度あるかを  
確認できます。

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額的水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

### 【分配原資の内訳】

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第180期	第181期	第182期	第183期	第184期	第185期
	2018年7月18日～ 2018年8月15日	2018年8月16日～ 2018年9月18日	2018年9月19日～ 2018年10月15日	2018年10月16日～ 2018年11月15日	2018年11月16日～ 2018年12月17日	2018年12月18日～ 2019年1月15日
当期分配金	20	20	20	20	20	20
（対基準価額比率）	0.279%	0.274%	0.277%	0.277%	0.279%	0.289%
当期の収益	20	20	20	20	20	20
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	379	391	397	404	412	419

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針 (作成対象期間末での見解です。)

### <ピムコ ハイ・インカム毎月分配型ファンド>

#### ◎今後の運用方針

- ・ 2本の円建外国投資信託への投資を通じて日本を除く世界の高利回り債券と投資適格債券を概ね50%程度ずつ組み入れた運用を維持し、毎月の安定した分配をめざす方針です。

### <ピムコ ケイマン グローバル ハイ インカム ファンド J P Y >

#### ◎運用環境の見通し（高利回り債券市場）

- ・ 米中貿易摩擦や金融緩和の縮小等を背景に、米国を中心に世界の経済成長が鈍化すると見えています。一方、足下の米国株式や社債の急落を背景にバリュエーションの観点から投資妙味が高まっていることや米金融当局が市場に配慮した金融政策を実施する可能性があること等はサポート材料になると考えられます。また、ハイイールド企業のファンダメンタルズは良好で、デフォルト（債務不履行）率も過去平均に比べて低水準を維持すると見えています。

#### ◎今後の運用方針

- ・ 前述のような運用環境の見通しのもと、引き続き慎重な業種・銘柄選択を行い、保守的な運用を行っていく方針です。
- ・ 具体的には、米住宅市況回復の恩恵を受けやすいと考えられること等から建築資材等に対して積極姿勢を維持します。一方、参入障壁が低く景気循環の影響を受けやすいと考えられる小売等に対して消極姿勢を維持します。

### <ピムコ ケイマン グローバル アグリゲイト エクス・ジャパン インカム ファンド J P Y >

#### ◎運用環境の見通し（投資適格債券市場）

- ・ 米国では、米中貿易摩擦や金融緩和の縮小、財政政策の効果が徐々に弱まること等を背景に経済成長のペースは鈍化すると見えています。また、欧州においても、イタリアの政治リスク等から経済成長ペースは鈍化すると見えています。

#### ◎今後の運用方針

- ・ 投資する債券の分散に配慮することはもとより、可能な限り様々な戦略の分散に努めつつ、次のような運用を行うことで、長期的な付加価値の獲得をめざします。
- ・ デュレーションについては、各国の金融政策動向を見極めながら、柔軟に対応する方針です。
- ・ セクター戦略では、リスクを考慮しても投資妙味があると判断する社債や非政府系モーゲージ証券等に選別的に投資を行う方針です。

## お知らせ

**i** 受益者のみなさまに知っていただきたいファンドに関するお知らせを掲載しています。

### ◎約款変更

- ・合成指数（ベンチマーク）で使用している指数名称の変更（変更前（旧）BofAメリルリンチ デベロップド・マーケット・ハイイールド・インデックス（BB-B、円ベース）、変更後（新）ICE BofAML 先進国ハイ・イールド・コンストレインド指数（BB-B、円ベース））に対応するため、信託約款に所要の変更を行いました。（2018年10月17日）

### ◎その他

- ・目論見書の投資リスクのその他の留意点に以下の記載を追加します。  
「投資対象ファンドにおいては、信用リスク管理上、政府機関の発行または保証する有価証券、およびそれらと同等と判断した銘柄（※）について、同一発行体でファンドの純資産総額の10%を超えて保有する場合があります。  
（※）には、米国の連邦住宅抵当公庫（ファニーメイ：FNMA）および連邦住宅抵当貸付公社（フレディ・マック：FHLMC）が発行または保証するモーゲージ証券等が該当します。」
- ・2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。

\*本書が、受益者のみなさまのお手元に届くのは作成対象期間末から2ヵ月以上が経過していることにご留意ください。なお、最近の運用状況や約款変更の内容等は当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）にて開示を行っている場合があります。

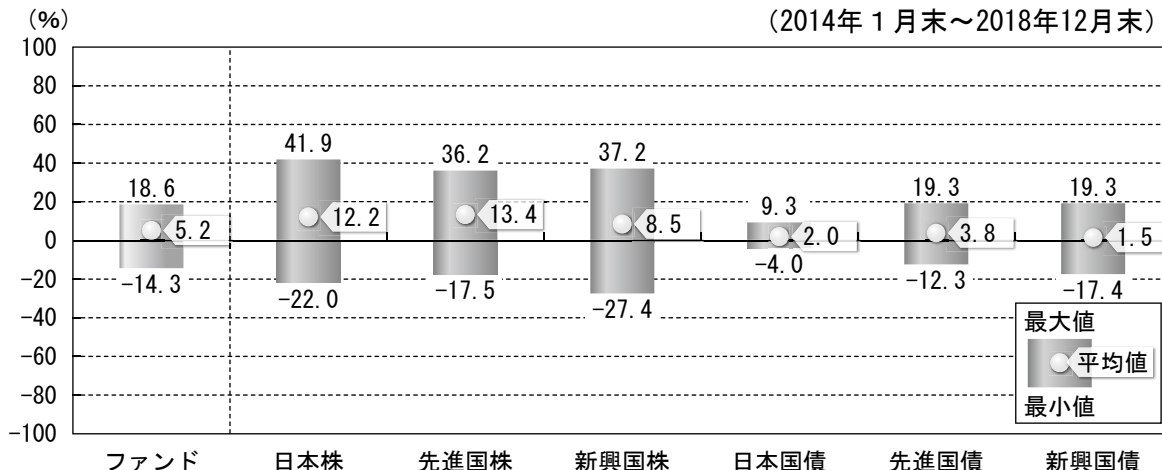
## 当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限（2003年8月8日設定）	
運用方針	<p>主として円建ての外国投資信託であるピムコ ケイマン グローバル ハイ インカム ファンド JPYおよびピムコ ケイマン グローバル アグリゲイト エクス・ジャパン インカム ファンド JPYの投資信託証券への投資を通じて、世界各国の国債、政府機関債、社債、モーゲージ証券（MBS）、資産担保証券（ABS）等を実質的な投資を行います。ICE BofAML 先進国ハイ・イールド・コンストレインド指数（BB-B、円ベース）×50%+ブルームバーグ・バークレイズ・グローバル総合（日本円除く）インデックス（円ベース）×50%の合成指数をベンチマークとします。各投資信託証券の組入比率は、それぞれ純資産総額の50%程度となるように調整します。実質的に投資する公社債は、原則として取得時においてB-格相当以上の格付けを有しているものに限るものとし、ポートフォリオの実質的な平均格付けは原則としてBBB-格相当以上を維持します。ポートフォリオの実質的な平均デュレーションは原則としてベンチマーク±2年以内で調整します。実質的な組入外貨建資産については、為替ヘッジを行いません。運用指図に関する権限は、ピムコジャパンリミテッドに委託します。</p>	
主要投資対象	当ファンド	ピムコ ケイマン グローバル ハイ インカム ファンド JPY投資信託証券およびピムコ ケイマン グローバル アグリゲイト エクス・ジャパン インカム ファンド JPY投資信託証券を主要投資対象とします。
	ピムコ ケイマン グローバル ハイ インカム ファンド JPY	世界各国の社債等を主要投資対象とします。原則として、為替ヘッジは行いません。
	ピムコ ケイマン グローバル アグリゲイト エクス・ジャパン インカム ファンド JPY	世界各国の国債、政府機関債、社債、モーゲージ証券（MBS）、資産担保証券（ABS）等を主要投資対象とします。原則として、為替ヘッジは行いません。
運用方法	日本を除く世界のハイ・イールド債券および投資適格債券を実質的な主要投資対象とし、高い利子収入の獲得をめざします。	
分配方針	経費等控除後の利子等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、経費等を控除後の利子等収益等を中心に、基準価額水準、市況動向等を勘案して、委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

## ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較

**i** 当ファンドの基準価額の変動率を他資産と比較することでファンドの値動き特性を捉えるのにお役立てください。

(2014年1月末～2018年12月末)



○上記は、2014年1月から2018年12月の5年間における1年騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて定量的に比較できるように作成したものです。

### ○各資産クラスの指数

日本株：TOPIX（配当込み）

先進国株：MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）

日本国債：NOMURA-BPI（国債）

先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本）

新興国債：JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

- ・全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。
- ・ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。
- ・騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

## 当該投資信託のデータ

### 当該投資信託の組入資産の内容

(2019年1月15日現在)

#### 組入ファンド

(組入銘柄数：2銘柄)

ファンド名		第185期末 2019年1月15日
<input checked="" type="checkbox"/>	ピムコ ケイマン グローバル ハイ インカム ファンド J P Y	51.0%
<input checked="" type="checkbox"/>	ピムコ ケイマン グローバル アグリゲイト エクス・ジャパン インカム ファンド J P Y	48.8%

・比率は当ファンドの純資産総額に対する各投資信託証券の評価額の割合です。

上記  の組入ファンドについて、後掲「組入上位ファンドの概要」の期間が当ファンドの期間と異なる点にご留意ください。

#### 純資産等

項 目	第180期末 2018年8月15日	第181期末 2018年9月18日	第182期末 2018年10月15日	第183期末 2018年11月15日	第184期末 2018年12月17日	第185期末 2019年1月15日
純資産総額	75,215,976,788円	76,068,625,414円	74,758,203,100円	74,403,493,637円	73,253,654,330円	70,359,938,444円
受益権口数	105,117,947,099口	104,447,307,457口	103,848,745,618口	103,251,457,954口	102,450,390,443口	102,029,451,735口
1万口当たり基準価額	7,155円	7,283円	7,199円	7,206円	7,150円	6,896円

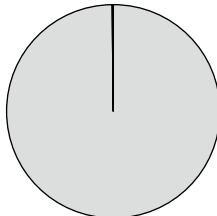
・当作成期間中（第180期～第185期）において  
追加設定元本は325,760,547円  
同解約元本は4,036,478,392円です。

#### 種別構成等

##### 【資産別配分】

コール・ローン等

0.2%

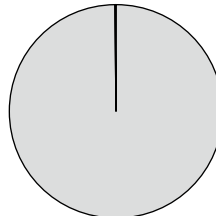


投資信託証券  
99.8%

##### 【国別配分】

その他

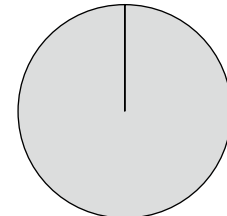
0.2%



ケイマン諸島  
99.8%

##### 【通貨別配分】

円  
100.0%



・比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。  
・国別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余  
裕資金等と合せて運用しているものを含まず。  
・【国別配分】、【通貨別配分】は、組入ファンドの発行国、発行通貨を表示しています。

## 組入上位ファンドの概要

ピムコ ケイマン グローバル  
ハイ インカム ファンド J P Y

(2018年2月28日現在)

### 基準価額の推移



基準価額の推移以外の開示情報につきましては、クラス分けされたものがないため、「ピムコ ケイマン グローバル ハイ インカム ファンド」ベースで表示しています。

ピムコ ケイマン グローバル ハイ インカム ファンド

### 組入上位10銘柄

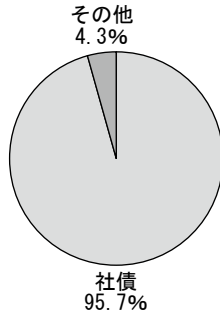
(組入銘柄数：594銘柄)

	銘柄	業種／種別	比率
1	CHARTER COMM / COO SR UNSEC 144A	メディア	0.5%
2	UNIVISION COMMUNICATIONS SR SEC 144A	メディア	0.5%
3	AURIS LUXEMBOURG II	ヘルスクエア機器サービス	0.5%
4	DIAMOND BC BV	その他工業	0.5%
5	CIT GROUP INC GLBL SR UNSEC	その他金融	0.4%
6	IHO VERWALTUNGS GMBH SEC REGS	自動車・自動車部品	0.4%
7	TELECOM ITALIA SPA SR UNSEC 144A	電気通信サービス	0.4%
8	SPRINT CORP SR UNSEC	電気通信サービス	0.4%
9	TESCO PROPERTY FIN 3 PLC MTGE BACKED	小売	0.4%
10	VIRGIN MEDIA FINANCE PLC SR UNSEC 144A	メディア	0.4%

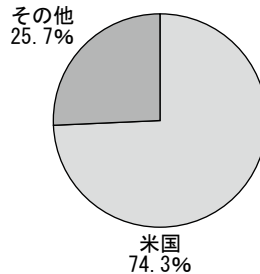
- ・比率はファンドの純資産総額に対する割合です。
- ・なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

## 種別構成等

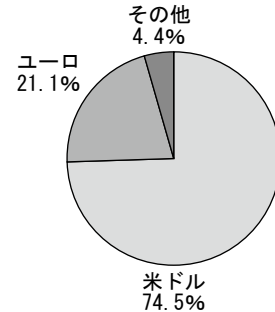
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



- ・ デュレーションが1年未満かつBBB格相当以上の債券等についてはその他に分類しています。
- ・ 比率はファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

## 1万口当たりの費用明細

(2017年3月1日～2018年2月28日)

- ・ 1万口当たりの費用明細に相当する情報がないため、開示できません。
- ・ ファンドが投資対象とする投資信託証券では運用管理費用（信託報酬）はありません。

### 「参考情報」

費用項目	比率
運用管理費用（信託報酬）	0.00%
その他	0.00%
費用合計	0.00%



## 組入上位ファンドの概要

ピムコ ケイマン グローバル アグリゲイト  
 エクス・ジャパン インカム ファンド JPY

(2018年2月28日現在)

### 基準価額の推移



基準価額の推移以外の開示情報につきましては、クラス分けされたものがないため、「ピムコ ケイマン グローバル アグリゲイト エクス・ジャパン インカム ファンド」ベースで表示しています。

ピムコ ケイマン グローバル アグリゲイト  
 エクス・ジャパン インカム ファンド

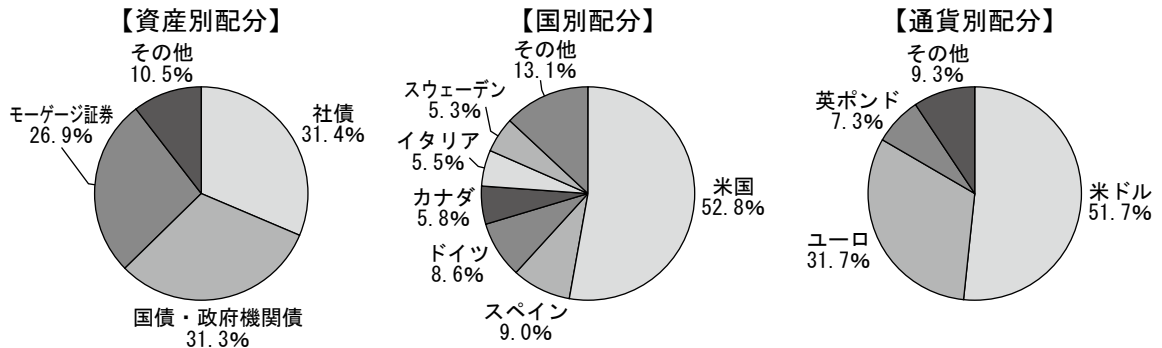
### 組入上位10銘柄

(組入銘柄数：503銘柄)

	銘柄	業種／種別	比率
1	FNMA TBA 3.5% APR 30YR	モーゲージ証券	8.9%
2	SPANISH GOVT BD (BONOS Y OBLIG)	国債・政府機関債	5.2%
3	FNMA TBA 4.0% APR 30YR	モーゲージ証券	3.4%
4	NORDEA KREDIT REALKREDIT SEC	社債	3.1%
5	FRENCH DISCOUNT T-BILL	国債・政府機関債	3.1%
6	FNMA TBA 3.0% APR 30YR	モーゲージ証券	3.0%
7	SPAIN LETRAS DEL TESORO	国債・政府機関債	2.9%
8	CANADA HOUSING TRUST 144A	国債・政府機関債	2.3%
9	U S TREASURY NOTE	国債・政府機関債	2.2%
10	FRENCH DISCOUNT T-BILL	国債・政府機関債	2.0%

- ・比率はファンドの純資産総額に対する割合です。
- ・なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。

## 種別構成等



- ・デューレーションが1年未満かつBBB格相当以上の債券等については「その他」に分類しています。
- ・比率はファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

## 1万口当たりの費用明細

(2017年3月1日～2018年2月28日)

- ・1万口当たりの費用明細に相当する情報がないため、開示できません。
- ・ファンドが投資対象とする投資信託証券では運用管理費用（信託報酬）はありません。

### 「参考情報」

費用項目	比率
運用管理費用（信託報酬）	0.00%
その他	0.00%
費用合計	0.00%

〈ご参考〉当ファンドに関わる費用について

ファンド名称（当ファンド）	対象期間	費用合計 （年率）
ピムコ ハイ・インカム毎月分配型ファンド	2018年7月18日 ～2019年1月15日	1.41%

ファンド名称（組入上位ファンド）	対象期間	費用合計 （年率）
ピムコ ケイマン グローバル ハイ インカム ファンド J P Y	2017年3月1日 ～2018年2月28日	0.00%
ピムコ ケイマン グローバル アグリゲイト エクス・ジャパン インカム ファンド J P Y	2017年3月1日 ～2018年2月28日	0.00%

（注）当ファンドの費用合計（年率）は、当ファンドの「1万口当たりの費用明細」に記載された合計の比率を年率換算したものであり、実際に年間で発生した費用ではありません。

（注）組入上位ファンドの費用合計（年率）は、「組入上位ファンドの概要」の「1万口当たりの費用明細」に掲載されている参考情報にある各費用項目の合計の比率であり、当ファンドの対象期間とは異なる場合があります。また、対象期間が1年超・未満の場合には年率換算して表示しています。

（注）組入上位ファンドの費用合計（年率）には、売買委託手数料が含まれていません。

（注）組入上位ファンドの開示データが無い場合、費用合計（年率）はマスターファンドにおける比率を掲載していません。

## 指数に関して

### ○ファンドのベンチマークである『合成指数』について

合成指数はICE BofAML 先進国ハイ・イールド・コンストレインド指数（BB-B、円ベース）×50%+ブルームバーグ・バークレイズ・グローバル総合（日本円除く）インデックス（円ベース）×50%の合成指数です。

ただし、設定から2013年10月15日までは、BofAメリルリンチ グローバル・ハイイールド・インデックス（BB-B、円ベース）×50%+バークレイズ・グローバル総合（日本円除く）インデックス（円ベース）×50%の合成指数です。ベンチマークはこれらを連続させて合成指数化したものです。

ICE BofAML 先進国ハイ・イールド・コンストレインド指数（BB-B、円ベース）とは、ICE Data Indices, LLCが算出する主な先進国のハイイールド債券の値動きを表す指数です。同指数は、ICE Data Indices, LLC、ICE Dataまたはその第三者の財産であり、三菱UFJ国際投信は許諾に基づき使用しています。ICE Dataおよびその第三者は、使用に関して一切の責任を負いません。ブルームバーグ・バークレイズ・グローバル総合（日本円除く）インデックス（円ベース）とは、ブルームバーグが算出する世界の投資適格債券（円建てのものを除く）の値動きを表す指数を円換算したものです。ブルームバーグ・バークレイズ・グローバル総合（日本円除く）インデックス（円ベース）は、従前、バークレイズ・グローバル総合（日本円除く）インデックス（円ベース）と呼ばれていました。ブルームバーグは2016年8月24日にブルームバーグ・バークレイズ指数をバークレイズから取得しました。ブルームバーグ（BLOOMBERG）は、ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピー（Bloomberg Finance L.P.）の商標およびサービスマークです。バークレイズ（BARCLAYS）は、ライセンスに基づき使用されているバークレイズ・バンク・ピーエルシー（Barclays Bank Plc）の商標およびサービスマークです。ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーおよびその関係会社（以下「ブルームバーグ」と総称します。）またはブルームバーグのライセンサーは、ブルームバーグ・バークレイズ・インデックス（BLOOMBERG BARCLAYS INDICES）に対する一切の独占的権利を有しています。

## ○「ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

### TOPIX（配当込み）

TOPIX（配当込み）とは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数（TOPIX）に、現金配当による権利落ちの修正を加えた株価指数です。TOPIX（配当込み）に関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、TOPIX（配当込み）の算出もしくは公表の方法の変更、TOPIX（配当込み）の算出もしくは公表の停止またはTOPIX（配当込み）の商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

### MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）

MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCI コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc. に帰属します。

### MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc. に帰属します。

### NOMURA-BPI（国債）

NOMURA-BPI（国債）とは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な国債パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI（総合）のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

### FTSE世界国債インデックス（除く日本）

FTSE世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

### JPMorganGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

JPMorganGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当該指数の著作権はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。



三菱UFJ国際投信